

社会システム研究科 社会システム研究科 博士前期課程 ( 2013年度入学生 )

※網掛けの科目については、本年度開講しません

<昼>

科目区分	科目名	学期	履修年次	単位	索引
	担当者	クラス			
■現代経済専攻	管理会計演習	1学期		2	
	休講				

科目区分	科目名	学期	履修年次	単位	索引
	担当者	クラス			
	備考				
■地域コミュニティ専攻	教育制度論	2学期	1	2	1
	見玉 弥生				
■特別研究	特別研究 ( M)IA	1学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 ( M)IA	1学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 ( M)IB	2学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 ( M)IB	2学期	1	2	
	休講	1年			
	特別研究 ( M)IIA	1学期	2	2	
	休講	2年			

# 教育制度論 【夜】

担当者名 /Instructor 児玉 弥生 / KODAMA, Yayoi / 人間関係学科

履修年次 /Year 1年次 単位 /Credits 2単位 学期 /Semester 2学期 授業形態 /Class Format 演習 クラス /Class

対象入学年度 /Year of School Entrance	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
			○	○	○	○	○	○	○			

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標 / Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	人間の基本的特性について理解を深めていくために、個人や集団に関する理論的な枠組みを学習し、社会的・文化的諸課題に関する専門的知識を備える。	△ 教育の制度に関する理論的な枠組みを学習、専門的知識を備える。
技能	人間関係に係わる諸課題を見定め、調査・分析できる。	△ 教育の制度に係わる諸課題を見定め、調査・分析できる。
態度	人間関係に係わる諸課題を見定め、整理し、実践的な対応策を提示できる。	◎ 教育の制度に係わる諸課題を見定め、整理し、実践的な対応策を提示できる。

※◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

※地域コミュニティ専攻以外の学生は、自専攻のカリキュラム・マップを確認してください。

教育制度論

## 授業の概要 /Course Description

### 概要

教育の制度についての文献の検討や討論を通して、専門的知識を習得し、研究の進め方を学ぶ。  
 授業前半は教育の制度に関わる共通の文献資料（研究論文）を提示し、参加者による報告発表を起点に討論する。  
 後半は教育の制度に関連する文献・資料の収集を実習、収集した中から講読文献を決め、参加者による報告発表を起点に討論する。

### 到達目標

- 【高度な専門的知識・技能】  
教育の制度を研究する上で必要な専門的知識を習得する。
- 【高い問題解決能力と表現力】  
教育の制度に係わる諸課題を見定め、調査・分析によって解決することができる。
- 【高い倫理観に基づいた自律的行動力】  
教育の制度に係わる諸課題を見定め、整理し、実践的な対応策を自律的に提示することができる。

## 教科書 /Textbooks

なし。  
資料は初回に配布する。

## 参考書(図書館蔵書には ○) /References ( Available in the library: ○ )

授業中に適宜、紹介する。

# 教育制度論 【夜】

## 授業計画・内容 /Class schedules and Contents

- 1回 イントロダクション
- 2回 教育の制度（日本）に関する研究論文（指定文献）の検討
- 3回 学校教育の制度（日本）に関する研究論文（指定文献）の検討
- 4回 学校外教育（日本）に関する研究論文（指定文献）の検討
- 5回 教育の制度（英語圏）に関する研究論文（指定文献）の検討
- 6回 学校教育の制度（英語圏）に関する研究論文（指定文献）の検討
- 7回 学校教育の制度（英語圏以外）に関する研究論文（指定文献）の検討
- 8回 中間まとめ
- 9回 選択文献の検討1【学校教育】
- 10回 選択文献の検討2【学校外教育】
- 11回 選択文献の検討3【教育と福祉】
- 12回 選択文献の検討4【学校とコミュニティ】
- 13回 選択文献の検討5【方法論 1】
- 14回 選択文献の検討6【方法論 2】
- 15回 まとめ

## 成績評価の方法 /Assessment Method

参加度と発表報告によりシラバスの到達目標をどの程度達しているかを判断して評価を行う。

## 事前・事後学習の内容 /Preparation and Review

資料は事前によく読んでおくこと。

発表者は事前の準備を行い、発表当日はレジュメ等、プレゼン資料を準備すること。

討論後は学びを整理すること。

## 履修上の注意 /Remarks

## 担当者からのメッセージ /Message from the Instructor

## キーワード /Keywords